



# 令和5年梅雨前線による大雨 及び台風2号による災害対応

**取手市における被災者支援の取り組み**

# 取手市の状況 1

令和5年6月2日(金)夜半から明け方の大雨により、市内で冠水被害等が発生した。

○降水量(6月2日午前2時～6月3日正午)

- ・取手市消防累加雨量:248ミリ
- ・取手(新町) // :240ミリ
- ・藤代(小浮気) // :286ミリ

6月1か月間の平均雨量の2倍近くが2日間で降った

# 取手市の状況 2

## ○本部体制

- ・6月2日(金)午後4時災害応急処理本部設置
- ・6月5日(月)午前11時災害対策本部設置

## ○警報発表・避難情報発令と避難所開設状況

### 6月2日(金)

- ・午後3時50分:大雨警報発表
- ・午後4時00分:指定避難所の取手グリーンスポーツセンターを開設

# 取手市の状況 3

## ○警報発表・避難情報発令と避難所開設状況

- ・午後6時50分:大雨警報の継続および土砂災害警戒情報の発表が見込まれるため、市内の土砂災害警戒区域に、高齢者等避難を発令
- ・午後8時頃:最初の避難者が到着
- ・午後11時59分:洪水警報発表

# 双葉地区の状況 1

## ○消防の対応

6月3日(土)

- ・午前2時43分:床上浸水の通報を受け、排水ポンプ設置等の対応。消防団の協力を得て床上浸水住宅から避難希望者のウレタンボートによる救助活動を開始

6月4日(日)

- ・午後1時00分:救助活動を終了。  
合計90人(57世帯)を救出、双葉自治会館に避難していた人のうち、39人をグリーンスポーツセンターに搬送。※夕方には双葉地区の冠水がほぼ解消された

# 双葉地区周辺状況図



# 双葉地区冠水状況



# 双葉地区の状況 2

(令和5年4月1日現在)

双葉地区の世帯数 1,124世帯

双葉地区の人口 2,140人

床上浸水324件

床下浸水240件

**計564件(住宅被害認定調査による)**

# 双葉地区について

・**高齢化率 47.5%**

・ **ここ数年コロナ禍により自治会活動が行われていなかった→地域コミュニティの希薄化  
→自治会、自主防災会、民生委員児童委員の連携に関する課題**

・ **新生自治会の力**

・ **地域の高齢者の不安に寄り添う姿勢**

# 被災者支援 市の対応 1

- ◆避難所には保健師を配置  
→避難者の体調管理
- ◆災害ゴミ対応  
→受け入れについての案内を戸別配布
- ◆被災者の入浴支援  
→老人福祉センターを開放、つくばみらい市の施設での受け入れ支援
- ◆保健師による被災者の健康確認  
→床上浸水世帯被災住民の健康確認(戸別訪問)  
健康相談を自治会館で実施
- ◆臨時移動スーパーの実施  
→双葉地区内2箇所で実施
- ◆専門家による特別相談会の開催  
→司法書士、行政書士、人権相談を実施

# 被災者支援 市の対応 2

## ◆地域防災計画の改正

- ・内水氾濫によるあらたな避難判断基準

## ◆浸水被害減災に向けての取り組み(内水氾濫対策)

- ・土嚢、水嚢の設置
- ・浸水検知センサーの設置  
(双葉地区内の5箇所を設置)
- ・勘兵衛堀排水路、大夫落排水路の堤防かさ上げ

# 被災者支援 市の対応 3

## ◆双葉地区の防災コミュニティ支援 (発災後1ヶ月半後に実施)

- ・自治会、自主防災会、民生委員児童委員、地域包括支援センター、消防分団、市役所関係各課が参加
- ・開催目的:地域を支える様々な組織と顔の見える関係性を築き、お互いの平常時、災害時の役割の理解促進を図ることで、地域や個人の防災対応力を高める
- ・協議事項:それぞれの組織の平常時における役割や具体的な活動の紹介、災害時の役割、組織間の連携・協力体制



ご清聴ありがとうございました

取手市

